

トピックス 第42回

「水の日」・「水の週間」
行事を開催

第40回全日本中学生水の作文コンクール最優秀作文披露
最優秀賞 井崎英里さん(宮城県仙台二華中学校3年)

水は大切でした。
～みなさんにとって、水はどんなものですか?～

昭和52年の閣議了解により定められた「水の日」及び「水の週間」は、水の大切さや水資源開発の重要性に対する国民の関心を高め、理解を深めるための取り組みです。

年間を通じて水の使用量が多く、水についての関心が高まる時期である8月の初日を「水の日」(8月1日)とし、この日を初日とする一週間(8月1日～7日)を「水の週間」として、水に関する様々な啓発行事が全国各地で毎年実施されており、今回で42回目を迎えました。



東京メトロの主要駅などに
掲示されたポスター

水を考えるつどい

平成30年8月1日(水)に東京都千代田区のイノホールにて、「水の日」を記念する政府主催行事「水を考えるつどい」が開催され、約400名の方々が来場されました。

主催者側から石井啓一国土交通大臣・水循環政策担当大臣、中島高志東京都都市整備局理事及び虫明功臣水の週間実行委員会会長によるご挨拶があり、その後「第40回全日本中学生水の作文コンクール」の表彰が行われ、国内外から寄せられた約14,000編にのぼる応募の中から最優秀賞(内閣総理大臣賞)を受賞した宮城県仙台二華中学校3年の井崎英里さんが、同県にある釜房ダム湖に沈んだ町の人々に思いを寄せ、現在の水

環境を未来に残したい旨の受賞作文「時をこえて～未来へ～」を朗読されました。

休憩を挟んで、原田啓介大分県日田市長による、「流域の暮らしを支える水の郷をもっと豊かに」と題する基調講演が行われ、水郷と呼ばれる日田市の魅力、九州北部豪雨災害の状況などを説明するとともに、将来を見据えて山を守り、川を残していかなければならないと語られました。

その後、コーディネーターとして、フリーアナウンサーの青山佳世さんにご参加いただき、関西福祉大学の金沢緑教授、横浜市水道局水源林管理所の温井浩徳所長、東京農業大学の宮林茂幸教授、サントリー株式会社の山田健チーフスペシャリスト、前段で基調講演をいただいた原田日田市長、水循環政策本部事務局の佐藤克英事務局長の計7名で、「流れの上流でも下流でも幸せになる流域の再生」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

むしあけかつみ
虫明功臣水の週間実行委員会会長挨拶主旨

- ・「水の日」、「水の週間」の取り組みが始まって約40年。ここ数年を振り返ると毎年のように水災害が生じている。一方で、水不足、渇水についても、度々発生している。
- ・再来年の東京オリンピックとパラリンピックでは、真夏の水需要が最も多い時期に国内外から首都圏に多数の観客が集中し、更に水需要が増大する。この重要な国際イベントを水の不安なくやり遂げることができるよう点検し、万一にでも水不足にはしない備えをしておく必要がある。
- ・昨年12月の第3回 アジア・太平洋水サミットでの「ヤンゴン宣言」をはじめ、水問題は世界的な課題として認識されており、水問題の改善のための動きが世界的にも加速している。

水のワークショップ・展示会

8月14日(火)から16日(木)までの3日間、東京国際フォーラム(東京都千代田区丸の内)が開催する「丸の内キッズジャンボリー 2018*」に参加し、「水のワークショップ・展示会」を開催しました。

「教えて!水のこと!～水の大辞典～」をテーマに、小学生の親子を対象として、上水道や下水道の仕組み、農業用水の役割、森林の働き、気象災害から身を守る方法、雨水を使った実験を交えた体験型ワークショップのほか、各種パネル展示、ダムクイズなどのブース展

示を行い、子供たちに水の大切さをより深く知っていただく機会としました。

水資源機構の出展ブースでは、VRを使って、360°で矢木沢ダムの高さや大きさなどを体感していただき、大人から子供まで、好評を博しました。

なお、開催期間中には、1,300名を超える方々にご来場いただきました。

※丸の内キッズジャンボリー:

2007年に東京国際フォーラムの開館10周年記念事業としてスタートした子どもたちの夢を育む参加・体験型イベント。

水を考えるつどい (8月1日 イノホール)



作文コンクール受賞者の方々



原田啓介 大分県日田市長による基調講演



青山佳世 フリーアナウンサー(左)
佐藤克英 内閣官房水循環政策本部事務局長(右)



温井浩徳 横浜市水道局水源林管理所長(左)
宮林茂幸 東京農業大学教授(中央)
山田 建 サントリー(株) サステナビリティ推進部チーフスペシャリスト(右)



原田 日田市長(左)
金沢 緑 関西福祉大学教授(右)

水のワークショップ・展示会 (8月14日～16日 東京国際フォーラム)



体験型ワークショップ(凝集沈殿実験)



体験型ワークショップ(雨と水の不思議を知ろう)



農業用水に関するゲーム・クイズ



3種の森林の水の飲み比べ



VRで360°ダムを体感

「第40回全日本中学生水の作文コンクール」の入賞作品については、国土交通省ウェブサイトでご覧いただけます。
http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/tochimizushigen_mizsei_tk1_000010.html